

池戸さん、堀さん、中島さん、小野寺さん、熊本が東京、安部さん、能勢さん、雄さんが大宮から乗った。宇都宮付近は土砂降りであったが、那須塩原、郡山では雨は上がっていた。



郡山付近から見た安達太良山は、
山頂付近には雲がかかっているが、
上空は青空がのぞいており、
期待が膨らむ。



郡山駅で在来線の乗換が 30 分近くあり、駅そばで腹ごしらえ。(9:00)



東北線下り 9:24 発福島行の在来線に乗るため改札口へ向かう。

郡山から二本松へ向かう途中、強風のため数分ストップしたが、二本松駅には 9:50 に到着した。



二本松駅で 10 時に予約していたジャンボタクシーが既に待っており乗りこみ、奥岳に向かう。



30 分弱で登山口の奥岳に到着したが、20mを超えらると思われる突風が吹いており、レストハウスに飛び込み、登山準備を整えて、風が納まるのを待つ。



11:15 まで待ったが相変わらず突風が吹き荒れ、リフトも動かずゲレンデには人影が全くない。
パトロール室に行って、くろがね小屋まで登れるか問うたが、判らないとのことで、くろがね小屋に電話を入れ確認したところ、途中の勢至平あたりは風が強く危険で止めた方が良くとのことで、本日の宿泊をキャンセルし、登山を諦めた。



登山中止となれば、本日の宿探しだ。
安部さん、中島さんが岳温泉観光協会に電話を入れ交渉した結果、岳温泉で最も大きなホテル「光雲閣」に宿泊が決定した。
宿の車の送迎が 13 時とのことで・・・まだ 1 時間半もあり・・・



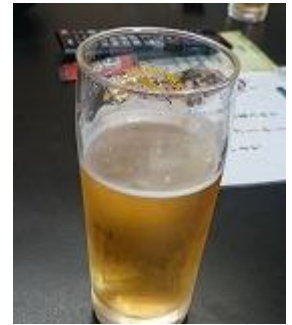
早速、能勢さん持参の赤ワインで飲み始める。(11:40) これぞクマさん会の早業だ。



13:15 光雲閣にチェックイン。10.5 畳に 6 人は十分な広さだ。この時間で入れるのはラッキー！



早速温泉に入る。湯の花をタップリ含んだ乳白色の硫黄泉は、美人の湯の日本第三位だそうです。



湯上りに、全員男性部屋に集まり、明日の作戦会議。まずは生ビールを自販機で購入したが、何とグラスに半分しか入らず、これで¥500 とは詐欺だ！



安部さんがくろがね小屋で宴会用にと持参した酒やつまみを肴に、話に花が咲く
明日の天気予報は終日、晴れマークで風がなければ問題ない。コースはリフトを 2 本乗り継ぎ、ゴンドラ山頂駅近くの五葉松平から薬師岳を経由して安達太良山頂登頂を果たし、戻るルートに決定した。



夕食は 3 階の別室で 18 時からスタート、食事は豪華で美味かった。くろがね小屋だったらカレーだった。





食事とお酒を堪能して、湯に入り明日の登山を夢見て爆睡。

3月10日（土）5時に起き温泉に入る。露天風呂にでると、何と深々と雪が降っていた。



粉雪が舞い全面真っ白に塗られていた。積雪は5センチ程度か？



朝食は7:15からバイキングで、慌ただしく食べ、8時に呼んでいたタクシーで奥岳へ
この頃は既に雪は止んでいた。



奥岳は濃霧に包まれホワイトアウトの状態で見えが殆どない。

リフトは8:30から動くので、それまでに登山スタート前に記念の集合写真を撮る



ゲレンデを背景にした写真は全く写っていない程、視界が悪かった。



8:30 になってもリフトは動かない。リフト乗り降り場の除雪が終わらないとダメで、待機中。



待機中の間に、雄さんがパトロール室まで行って、リフト下の登山道の様子を聴きに行ってくれたが、最後の第4リフトは急斜面で歩いて登るのは止めた方が良くいと云われ、リフトが動くのを待つことにした。



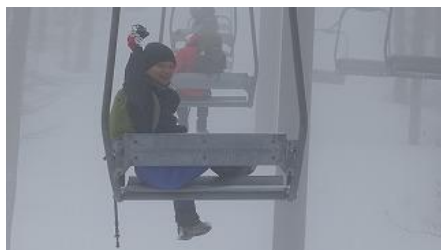
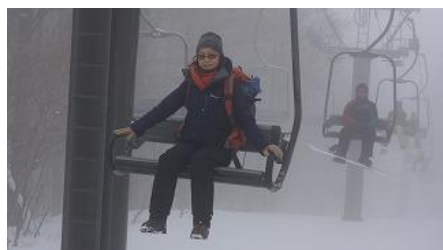
8:15 に、No1 および No.3 リフトが動くが、我々が乗る No.2 及び No.4 はまだ動かない



それから 15 分後の 9:00 にヤット、No.2 & No.4 リフトが OK となった。



早速、レストハウスを出て、No.2 リフト乗り場に向かう。依然と濃霧で視界がない。



No.2、No4 リフトを乗り継いで登山道へ向かう



リフトを降り、アイゼンを装着していると明るくなり陽が射し始めてきた。(9:30)



アットという間に霧が晴れてきて・・



昨夜降った雪で、綺麗に霧氷の花が咲いていた。



準備を整え、早速登山開始（9:37）



ゴンドラ山頂駅を目指し、急な傾斜を登る



25 分程急登を詰めると展望の良い尾根に出た。（9:55）しかし風が出てきた。



五葉松平に出た（10:15）。徐々に雲が広がりはじめ、風も強くなったきた。



10:27 薬師岳の標識がある見晴らしのあるピークにでた。地図では、ここは薬師岳展望台の筈だ。



薬師岳展望台にて一息入れる。



10m 程離れたところに智恵子抄でおなじみの「この上の空がほんとの空です」の標識があった。

晴れてはいるが風が益々強まってきた。更に山頂に向かって進む





11:00
麓の方は青空が広がって
いるが・・



山頂は雲の中で全く見る事が出
来ない。



風強く、視界も悪いのでこれより先はリスクが大きすぎるため残念だがここで撤退を決意する。
中島さんは先へ進みたかったようだが・・・





薬師岳まで戻り、記念写真を撮り奥岳登山口へ下山する。(11:15)





下りリフトは乗せてくれなく、2本分のゲレンデを歩いて降りた。



12:15 奥岳登山口に戻った。



日帰り温泉「奥岳の湯」で二日間の疲れと汗を流して・・・



レストハウスで、生ビールで乾杯と昼食を摂り、タクシーで二本松の駅へ向かった。

全員自由席乗車券であったが、盛岡発のやまびこの為、指定を取り直し、何とか纏まって座席を確保し、恒例の車内宴会をしながら帰路に着いた。

今回の山行は、初日が登山口レストハウスから一步も出られず撤退、二日目は山頂を目前にしながら撤退と、強風に見舞われた二日間で、自然の厳しさが身に染みた山旅で、リベンジの機会を与えられました。

お疲れ様でした。

なお。今回の登山コースは下図の通りの結果となった。

